



黒石中、黒石小、原小の学運教委員、教職員、黒石中学生徒会が参加した合同学運教が開かれました。初めて生徒が参加したこの会は、「中学生の思いを地域の方々に伝えたい」をコンセプトに、3部会に分かれ、生徒が発表役となって進められました。「礼儀正しさ」「地域の行事への積極的な参加」等、地域に愛される中学生の姿が挙げられ、具体的な手だてとしては、「挨拶+1（プラスワン）作戦」「地域を好きになるゆめプラン」「中学生がリーダーの子ども会発足」「地域のICT化への協力」など、地域づくりにもつながる多くのアイデアが出されました。今後は、これらのアイデアの実現に向け、子どもの主体性を大事にした学運教の充実、withコロナでの持続可能な活動を各校で進めてほしいと思います。

R3 黒石中学校区合同学校運営協議会が開催されました

黒石中、黒石小、原小の学運教委員、教職員、黒石中学生徒会が参加した合同学運教が開かれました。初めて生徒が参加したこの会は、「中学生の思いを地域の方々に伝えたい」をコンセプトに、3部会に分かれ、生徒が発表役となって進められました。「礼儀正しさ」「地域の行事への積極的な参加」等、地域に愛される中学生の姿が挙げられ、具体的な手だてとしては、「挨拶+1（プラスワン）作戦」「地域を好きになるゆめプラン」「中学生がリーダーの子ども会発足」「地域のICT化への協力」など、地域づくりにもつながる多くのアイデアが出されました。今後は、これらのアイデアの実現に向け、子どもの主体性を大事にした学運教の充実、withコロナでの持続可能な活動を各校で進めてほしいと思います。

新学年「地域に愛される中学生」とは

新学年「地域に愛される中学生」とは、礼儀正しさ、挨拶+1（プラスワン）作戦、地域を好きになるゆめプラン、中学生がリーダーの子ども会発足、地域のICT化への協力など、地域づくりにもつながる多くのアイデアが出されました。今後は、これらのアイデアの実現に向け、子どもの主体性を大事にした学運教の充実、withコロナでの持続可能な活動を各校で進めてほしいと思います。



合同学運教の様子。黒石中、黒石小、原小の学運教委員、教職員、黒石中学生徒会が参加した合同学運教が開かれました。初めて生徒が参加したこの会は、「中学生の思いを地域の方々に伝えたい」をコンセプトに、3部会に分かれ、生徒が発表役となって進められました。「礼儀正しさ」「地域の行事への積極的な参加」等、地域に愛される中学生の姿が挙げられ、具体的な手だてとしては、「挨拶+1（プラスワン）作戦」「地域を好きになるゆめプラン」「中学生がリーダーの子ども会発足」「地域のICT化への協力」など、地域づくりにもつながる多くのアイデアが出されました。今後は、これらのアイデアの実現に向け、子どもの主体性を大事にした学運教の充実、withコロナでの持続可能な活動を各校で進めてほしいと思います。

- ◎ 挨拶+1（プラスワン）作戦
- ◎ 地域を好きになるゆめプラン
- ◎ 中学生がリーダーの子ども会発足
- ◎ 地域のICT化への協力



- ◎ 挨拶+1（プラスワン）作戦
- ◎ 地域を好きになるゆめプラン
- ◎ 中学生がリーダーの子ども会発足
- ◎ 地域のICT化への協力



合同学運教の様子。黒石中、黒石小、原小の学運教委員、教職員、黒石中学生徒会が参加した合同学運教が開かれました。初めて生徒が参加したこの会は、「中学生の思いを地域の方々に伝えたい」をコンセプトに、3部会に分かれ、生徒が発表役となって進められました。「礼儀正しさ」「地域の行事への積極的な参加」等、地域に愛される中学生の姿が挙げられ、具体的な手だてとしては、「挨拶+1（プラスワン）作戦」「地域を好きになるゆめプラン」「中学生がリーダーの子ども会発足」「地域のICT化への協力」など、地域づくりにもつながる多くのアイデアが出されました。今後は、これらのアイデアの実現に向け、子どもの主体性を大事にした学運教の充実、withコロナでの持続可能な活動を各校で進めてほしいと思います。

**8月18日（水曜日）【地域に愛される中学生とは】
黒石中学校区3校合同学校運営協議会**

黒石中、黒石小、原小の学運教委員、教職員、黒石中学生徒会が参加した合同学運教が開かれました。初めて生徒が参加したこの会は、「中学生の思いを地域の方々に伝えたい」をコンセプトに、3部会に分かれ、生徒が発表役となって進められました。「礼儀正しさ」「地域の行事への積極的な参加」等、地域に愛される中学生の姿が挙げられ、具体的な手だてとしては、「挨拶+1（プラスワン）作戦」「地域を好きになるゆめプラン」「中学生がリーダーの子ども会発足」「地域のICT化への協力」など、地域づくりにもつながる多くのアイデアが出されました。今後は、これらのアイデアの実現に向け、子どもの主体性を大事にした学運教の充実、withコロナでの持続可能な活動を各校で進めてほしいと思います。



**7月31日・8月7日（土曜日） 琴芝子ども花火遊び～中学生ボランティアとともに～
琴芝ふれあいセンター**

琴芝ふれあいセンターの主催で、地域学校協働活動として子ども花火あそびのイベントがありました。新型コロナウイルス感染症予防対策のために限定25人ずつ7月31日と8月7日の2回に分けて行われました。当日は、上宇部中学校の生徒のみなさんもボランティアとして参加してくれました。中学生のボランティアの方々は、燃えかすを集めたり、後始末をしったりと最後までお世話をしてくれました。（写真は7月31日の様子）



8月4日（水曜日） 中学校区4校の取組の共有化 厚東川中学校区合同学校運営協議会

夏休み中は、多くの中学校区で合同学校運営協議会が行われます。これは、中学校区単位で小・中学校の地域連携・協働の取組の共有化を図り、地域ぐるみで子どもたちの育ちや学びを支えるための会です。

厚東川中学校区では、厚東中、厚東小、二俣瀬小、小野小の4校から、代表の委員さんが4名ずつ参加し、学び部会、からだ部会、こころ部会に分かれ、今後の取組を熟議しました。今回初めて中学校の生徒が一緒に参加しました。「今日の会を第一歩として、これからもっと子どもの意見を聞いていこう」という委員さんの声印象的でした。



7月28日（水曜日） 生徒が参画する学校運営協議会の仕組みづくり 宇部市コミュニティ・スクール研修会

学校教職員、地域の方々、行政関係者115人の参加を得て、常盤湖水ホールで開催しました。今回の研修は、児童生徒が学校運営協議会へ参加や参画するための方策について考えました。先進的に実践を進める上宇部中学校の藤井校長先生による実践発表では、生徒会役員の3人も参加し、「当事者」としての思いや具体的な取組について話してくれました。実践報告をもとに、自校・自地区の児童生徒を参加・参画させるための具体的な取組について大変熱心な協議が行われました。研修会の具体的な内容は、本ウェブページの研修会ページに詳しく掲載していますのでご覧ください。



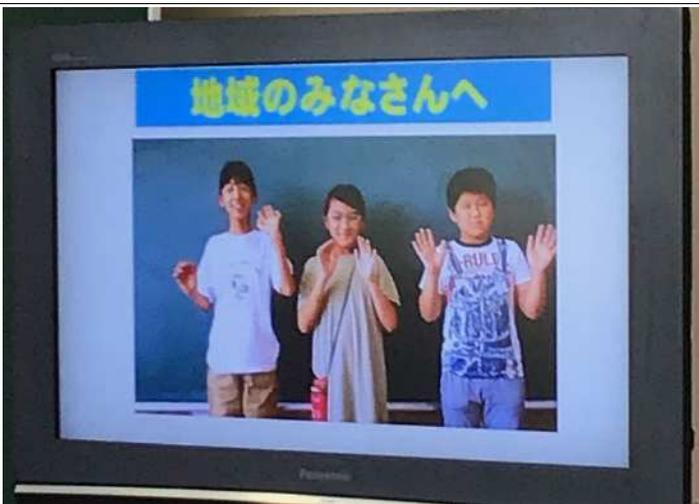
7月8日（木曜日） 「1・2年やおや」こもれびの郷にオープン
万倉小学校

1,2年生が、地域の方の指導の下で学校で大切に育ててきた、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、エダマメを楠こもれびの郷で販売しました。北部支援チームが、学校とこもれびの郷とつないでいただき実現しました。この日に向けて、看板やポスター作りを進め、校内で販売の練習も積んできました。初めは緊張気味だった子供たちも、「いらっしゃいませ。」「レジはあちらです。」「ありがとうございました。」と、お客様と対応するうちに自然と動けるようになって来ました。店長さんを始め、たくさんの地域の方々のご支援で実現できたこの学習は、まさに地域学校協働活動です。万倉地域は、学校も地域も元気いっぱいです。これまでの活動の様子は学校のホームページに詳しく掲載されていますので、是非、ご覧ください。



7月1日（木曜日） 生徒が参画する学校運営協議会
上宇部中学校

上宇部中学校は、生徒を主体とした学校運営協議会を進めています。前回の協議会で各委員から出た意見を生かして改善案を再提案し、協議を行いました。生徒会長からは「地域の方から、自分たちでは思いつかないような意見が聞けてよかった。」という声が聞かれ、また、委員からは「地域の活動を充実させるために、君たちからアイデアを出してほしい。一緒にやろう。」と呼びかけがありました。生徒と地域がお互いを必要としている姿は、まさに「学校を核とした地域づくり」にもつながるものです。このような地域がどんどん増えてほしいと願っています。



6月28日（水曜日）、29日（木曜日） 児童が参加する学校運営協議会
琴芝小学校、鵜ノ島小学校

本市の今年の重点的取組の一つである児童生徒の学校運営協議会への参加・参画が進んできました。琴芝小学校では、5年生が家庭科の学習として、「琴芝の未来について考えよう ～今、私たちにできること～」というテーマで地域貢献について話し合いました。本来は学校運営協議会を兼ねて委員の皆さんと一緒に話し合う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で児童のみの授業となりました。この日の協議会では授業の様子をビデオで流し、画面上から委員さんに意見を求めました。左の写真はその呼びかけです。鵜ノ島小学校でも児童が参加する学運協の予定が協議会で報告されました(右写真)。小学生児童も、地域連携の当事者として参加する取組です。



6月25日（金曜日） 宇部市地域コーディネーター等研修会
ときわ湖水ホール

地域コーディネーター、学校の先生方、学校運営協議会委員、社会教育推進委員、地域学校協働活動推進委員、ふれあいセンター職員等を対象とした研修会を1年ぶりに開催しました。平日の夜開催にもかかわらず、73人と大変多くの参加者を迎えました。県教委、市教委の所管説明に続き、美祢市立大田小学校の先進的な地域コーディネーターの取組の講演を行いました。4人のコーディネーターさんが活躍する大田小の実践は、本市の今後の地域学校協働活動の推進に大変参考になるものでした。



6月11日（金曜日） 地域の方々によるプール清掃
万倉小学校

昨年度はコロナ感染症対策としてプールでの水泳が実施できず、子供たちも大変残念な思いをしましたが、今年は2年ぶりに水泳を行うことができそうです。万倉小学校では、感染拡大防止集中対策期間中のプール清掃の方法を思案していたところ、学校運営協議会境会長様からの温かいお申し出で、地元企業の社員の方々と地域の方々により、プール清掃を行っていただくことになりました。高圧洗浄機でピカピカになったプールで、いよいよ22日から水泳が始まります。



5月28日（金曜日） 児童だけの運動会
琴芝小学校

5月末には運動会を予定していた学校が多くありましたが、コロナ感染症の急拡大の影響を受けて、中止や延期が相次ぎました。今年こそはと期待して練習を重ねてきたのですが、とても残念です。琴芝小学校でも、土曜日の保護者・地域対象の運動会は中止となり、晴天に見舞われた金曜日に、児童のみによる運動会を開催しました。児童は、お互いの絆を高めあいながら、全力で演技や協議をやりぬきました。秋に延期した学校もあります。その頃には状況が改善して開催できることを切に願います。



5月17日（月曜日） 休耕田を活用した米作り体験の始動
東岐波小学校

学校近くの休耕田を活用し、5年生が米作りを体験することになりました。社会科で米作りについて学びますが、米作りの作業や働く人々の苦労や工夫は、実際に体験してみないと実感できません。東岐波地域でも米作りを目にするのが少なくなっており、授業として体験させたいという学校の願いが地域に届き、地主の方々、JA、学運協、地域学校協働活動推進員等の皆様のご協力で、今年初めて実現しました。この日は、あいにくの雨で、体育館の屋根の下での活動でしたが、苗床にもみを蒔く作業を体験しました。1ヵ月後には、緑に伸びた苗を田んぼに植えていきます。



5月13日（木曜日） 「子どもが考えたこと可能にする協議会にしましょう。」
上宇部小学校

学校運営協議会に6年生運営委員会の児童が「参画」しました。昨年の学校評価アンケートで、児童は頑張っていると思っていた挨拶（児童肯定率91%）が、保護者の肯定率は57%と大きな差があったことについて疑問に思い、自分たちで毎日の挨拶の様子を実態調査しました。それを基に、地域や保護者に認めてもらうための取組を考え、この日の学運協で各委員さんに意見を求めました。児童の参画は初めてでしたが、各委員さんは児童の真剣で大変しっかりとした発言に感動し、数多くの意見が述べられました。会の終わりの挨拶で、会長の山野さんは、「これからは、この協議会を、子供が考えたことを可能にする会にしましょう。」と話されました。



5月2日（日曜日） 地域と学校が協働した市制100周年記念事業
西岐波中学校

本市は11月に市制100周年を迎えます。西岐波地区では、地域の記念事業を中学校と協働して行うことになりました。西岐波地区コミュニティ推進協議会からの依頼を受け、校区内の白土海岸のシャワー室の壁に記念の絵を描きます。生徒会が全校生徒にデザインを募集し、4月後半から、美術による現地での製作が始まっています。クジラ、さかな、クラゲ、岩、光による水中の青色の変化や波の反射光など、美術部の表現力が存分に発揮されています。完成式典は、夏の「サンセットフラフェスタ」に併せて行われます。学校と地域が協働した記念シンボルです。



4月30日（金曜日） 「これからは私たち生徒が地域を愛し返したい」
東岐波中学校

今年の実組の重点の一つに「児童生徒の学校運営協議会への参画」を掲げています。東岐波中学校では、昨年に引き続き、生徒会役員が協議会に参画しました。生徒会長は「これまでは地域の皆さんに愛されてきたので、これからは、私たち生徒が地域を愛し返したい」と力強く話しました。取組の説明の後の熟議では、4部会に分かれて、今年の実組について意見を交わしあいました。生徒は事前に十分に準備をして臨んでおり、昨年度の活動に一層の上乗せが期待できそうです。「東岐波のために何かをしようとしている子供がたくさんいる」と委員さんも目を細めておられました。



4月22日（木曜日） 生徒会代表が学校運営協議会にて意見表明
神原中学校

感染症対策を講じた上で、市内各小・中校で令和3年度第一回目の学校運営協議会が開催されています。神原中学校では、「地域との年間交流活動計画」を基に生徒会で協議し、地域貢献活動について提案がありました。具体的には、地域文化祭でのお化け屋敷開催や、餅つき大会、凧揚げ大会、清掃活動、挨拶運動等ですが、役に立ちたいという思いが、地域の人々の心に伝わったようです。頼もしい、できることから一緒に始めようとの声が上がりました。



4月21日（水曜日） 十分なコロナ対策をとって授業公開・学校運営協議会
小野小学校

本年度もコロナ感染症の拡大が心配されていますが、各学校では、来校者の健康把握をして感染防止に努めながら、学運協や保護者参観日を実施しています。

小野小学校の学校運営協議会では、各委員は、入り口で、健康チェック、検温、消毒をして校舎に入りました。複式授業の様子、新一年生の頑張っている様子、特色あるリモート授業の様子など、小野小教育の特色ある授業を見ていただきました。参観後の協議では、全職員が参加し学年別部会に別れ、本年度の授業支援について具体的な協議が行われました。



4月9日（金曜日） 学校運営協議会始まる
厚東小学校

本年度最初の学校運営協議会が行われました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で連携活動が大幅に減少しましたが、本年度はしっかりと対策をとりながら、地域学校連携活動が進むよう協議が行われました。学校では1人1台のタブレットが配布され日々活用が始まる中で、厚東地区でも各自治会にタブレットが配布されることになり、ICTの活用を通して地域と学校の協働活動が求められる状況となりました。厚東地域の新たな取組に大いに期待しています。